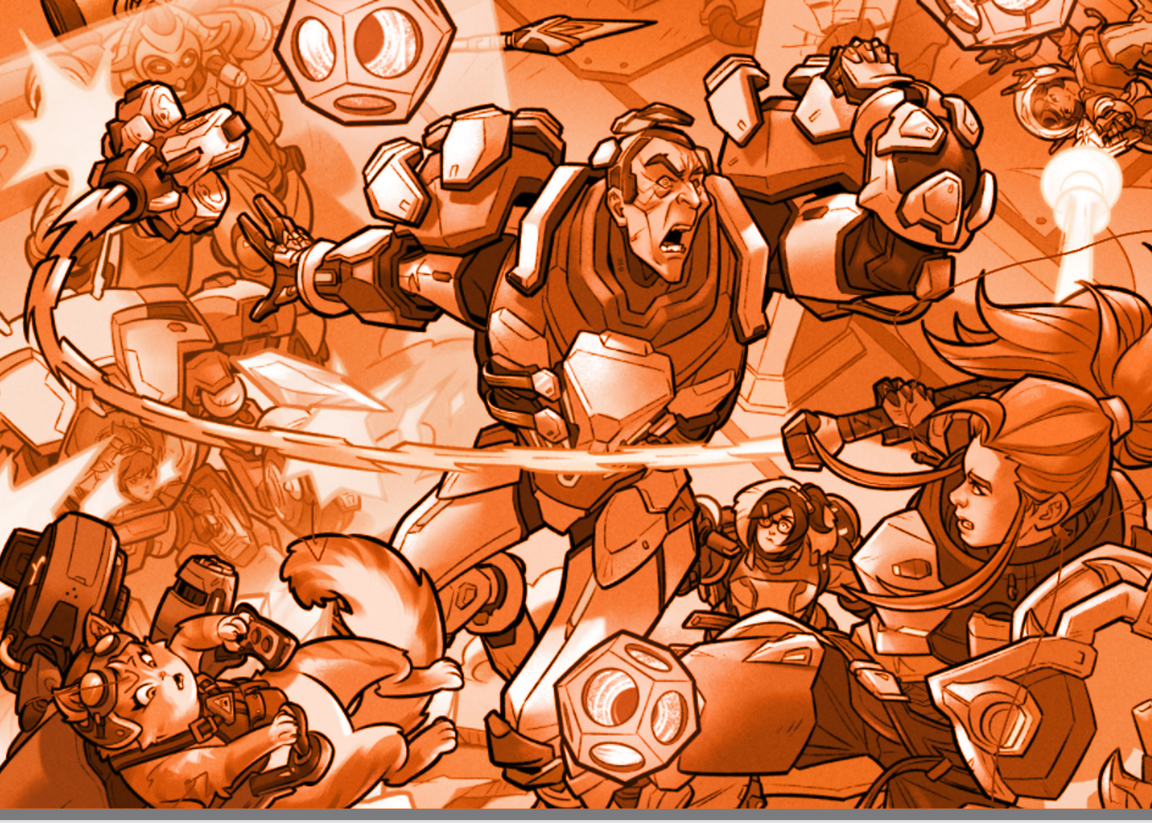

BLIZZARD ENTERTAINMENT
OVERWATCH®
たとえ引き裂かれても
MELISSA FLORES
RON CHAN



たとえ引き裂かれても

OVERWATCH

精神が不安定な中、タロンに実験を強要されるシグマ。そんな彼を救うべく、単身タロンへと乗り込んだソンブラだったが、その最中にシグマが暴走。オーバーウォッチをも巻き込んだ未曾有の危機へと発展する…。

作者 MELISSA FLORES アート&カバー RON CHAN 英語活字デザイン ANDWORLD DESIGN

BLIZZARD ENTERTAINMENT

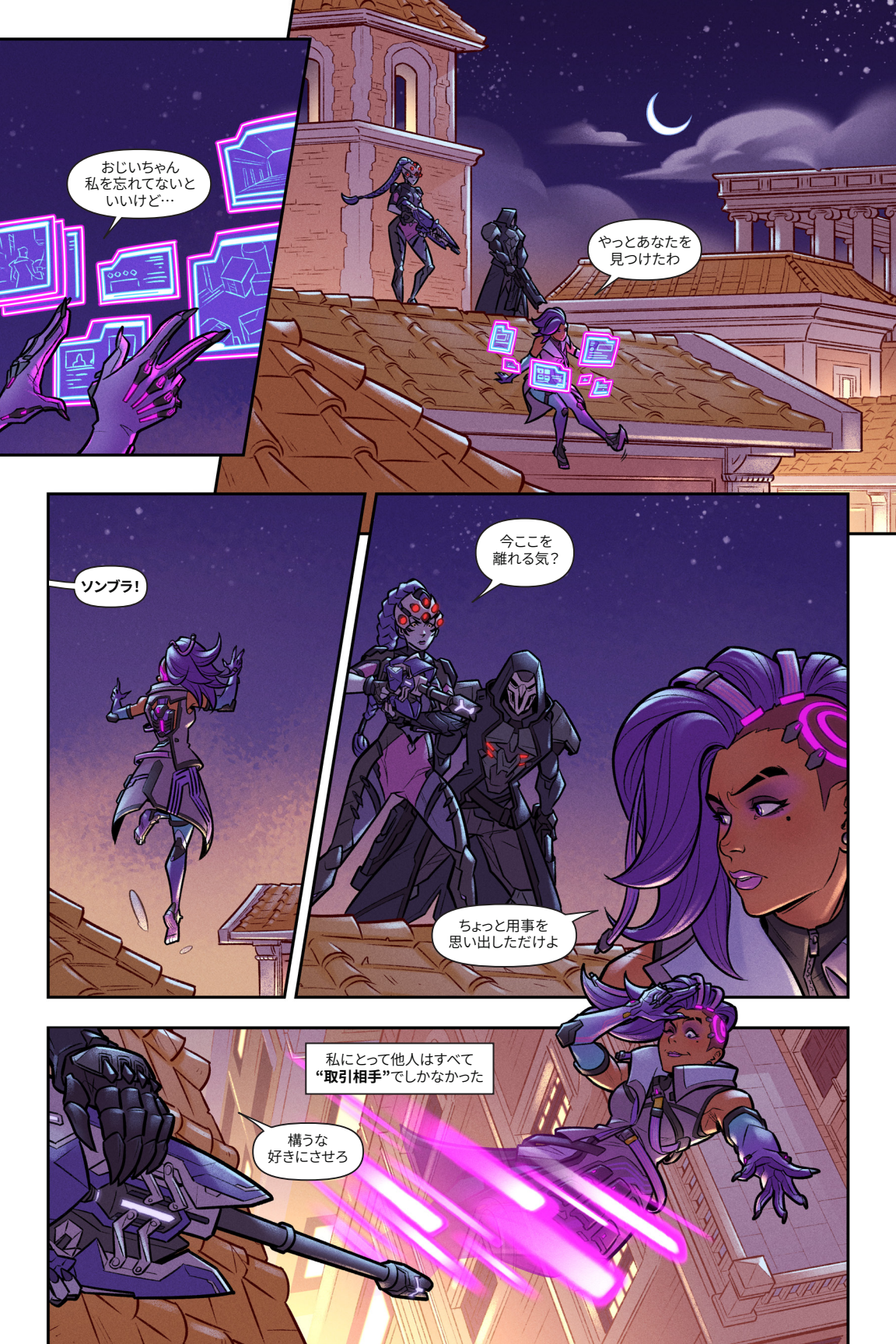
シニア・ディレクター、ストーリー&フランチャイズ・デベロップメント VENECIA DURAN
シニア・マネージャー、ライティング&ブックス MATTHEW COHAN
エディトリアル・スーパーバイザー CHLOE FRABONI シニア・エディター MEGAN WALKER
シニア・ブランド・アーティスト SOPHIE ERB
シニア・プロデューサー BRIANNE MESSINA プロダクション TAKAYUKI SHIMBO, JT TORREA, QIANNAN ZHANG
ゲーム・チーム・コンサルタント JEFF CHAMBERLAIN, MIRANDA MOYER, NESSKAIN, JUSTIN RICHMOND, DION ROGERS, JUDE STACEY
日本語翻訳 WATARU HIRATA

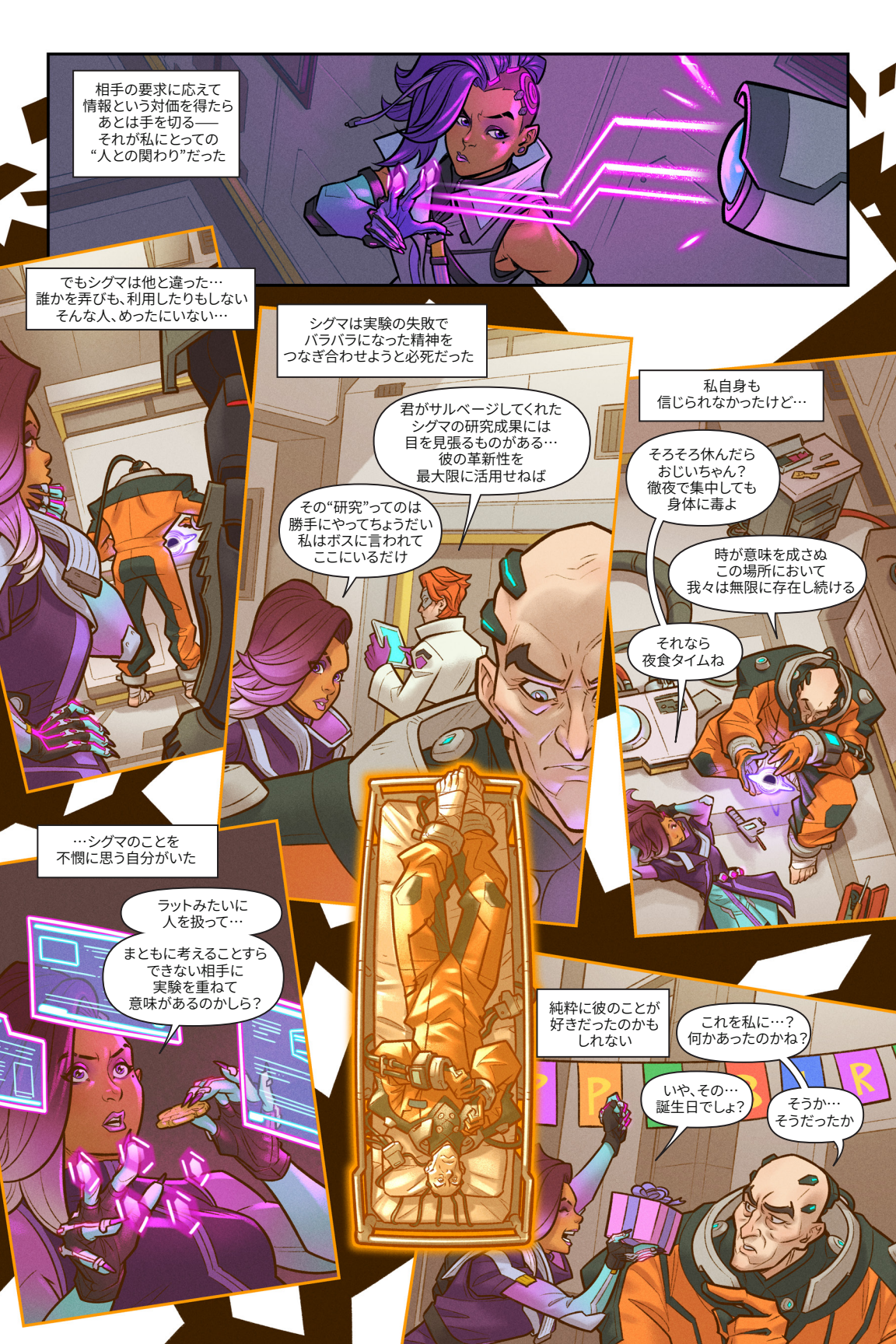
BLIZZARD ENTERTAINMENT Blizzard.com

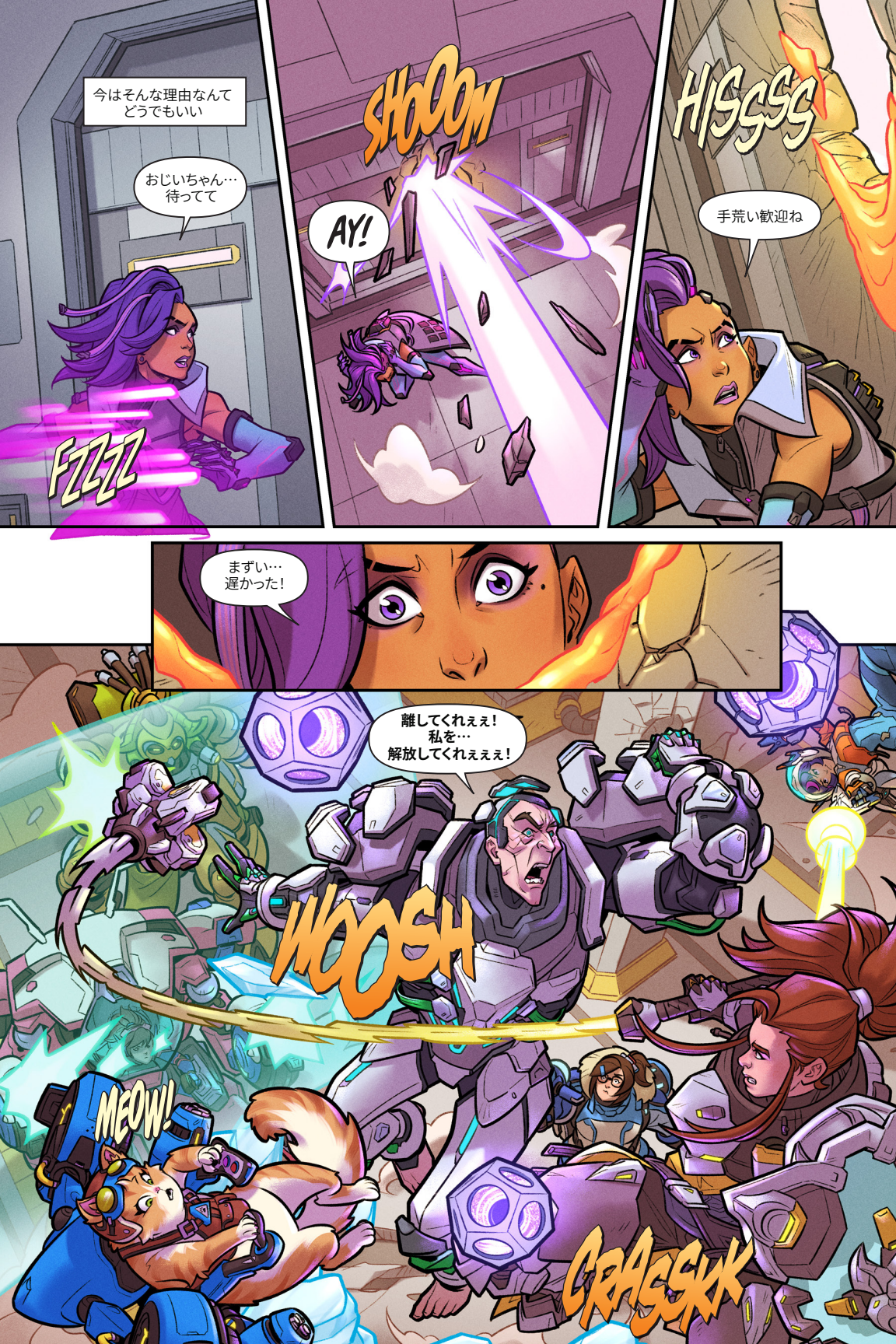
© 2026 Blizzard Entertainment, Inc. BlizzardおよびBlizzard Entertainmentのロゴは、米国およびその他の国におけるBlizzard Entertainment, Inc.の商標または登録商標です。

Published by Blizzard Entertainment.

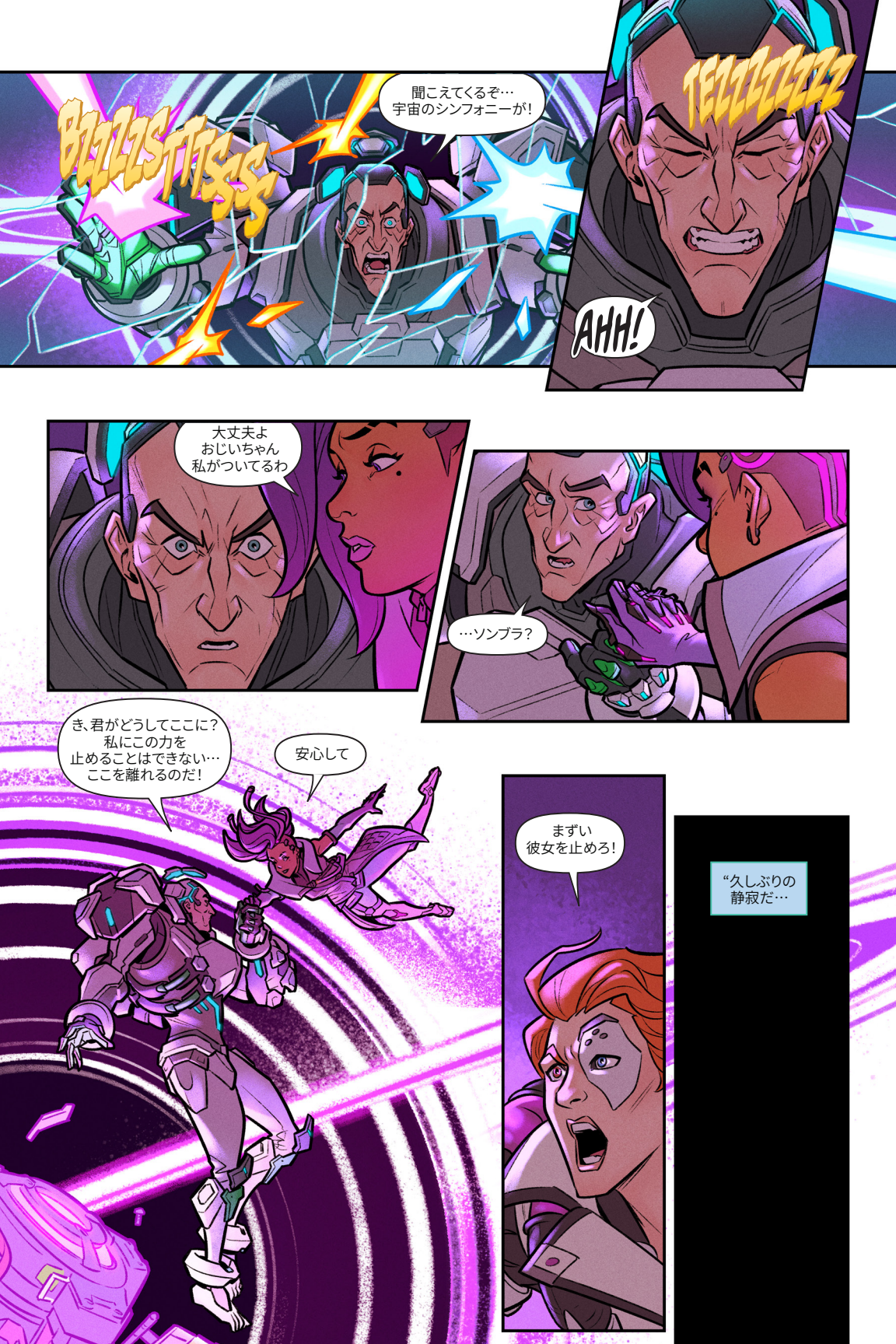
本作品はフィクションです。本作品に登場する名前、キャラクター、場所、出来事は、著者または作画者の想像による産物または架空のものです。実在する人物（存命中または故人）、出来事、団体、場所に類似するいかなる描写も、風刺的な意図はなく、偶然によるものです。
Blizzard Entertainmentは著者や第三者のウェブサイトまたはそのコンテンツを管理しておらず、それらについて一切の責任を負いません。

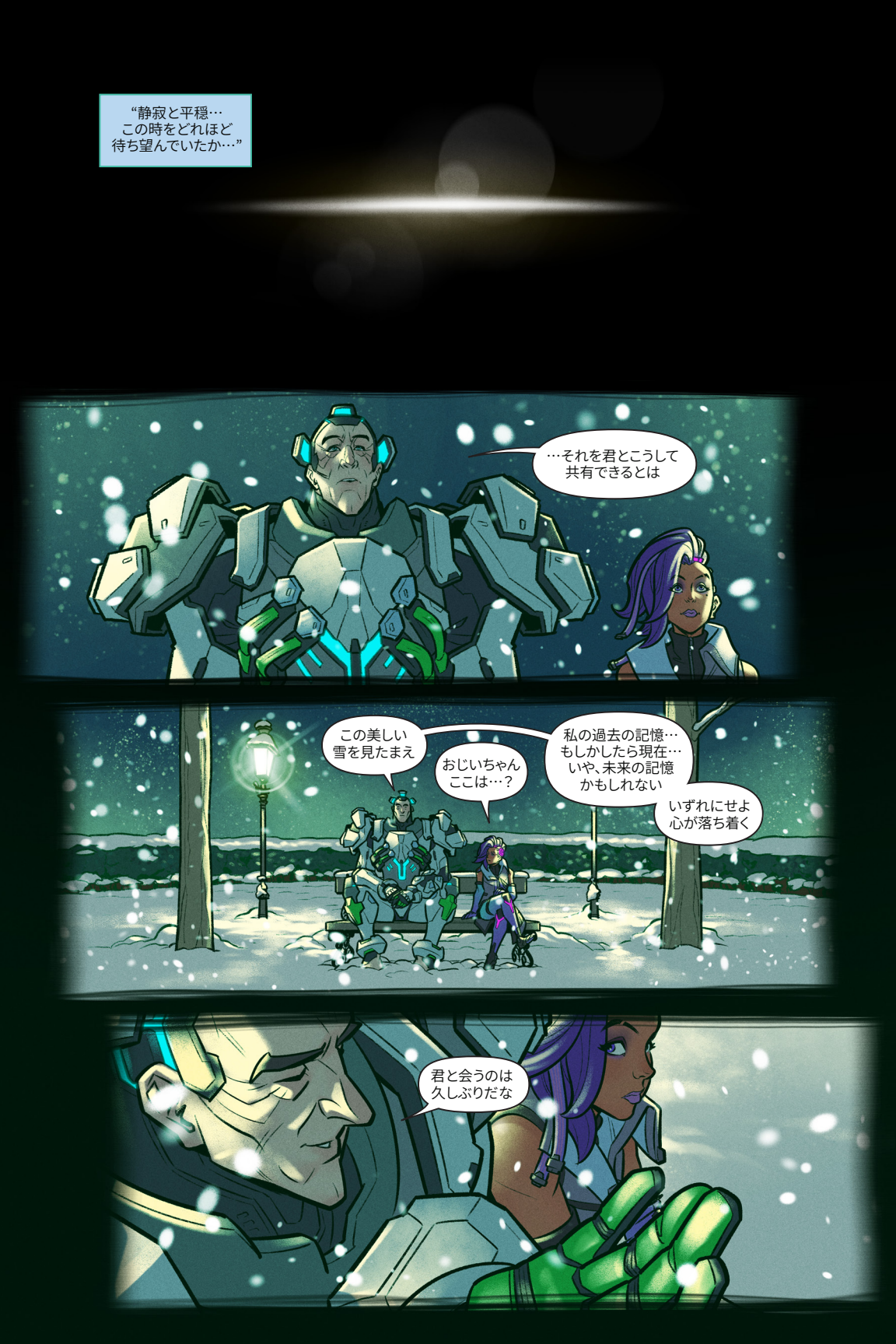

おじいちゃん
私を忘れてないと
いいけど…
やっとあなたを
見つけたわ
ソンブラ!
今ここを
離れる気？
ちょっと用事を
思い出しただけよ
私にとって他人はすべて
“取引相手”でしかなかった
構うな
好きにさせろ


相手の要求に応えて
情報という対価を得たら
あとは手を切る――
それが私にとっての
“人との関わり”だった
でもシグマは他と違った…
誰かを弄びも、利用したりもしない
そんな人、めったにいない…
シグマは実験の失敗で
バラバラになった精神を
つなぎ合わせようと必死だった
君がサルベージしてくれた
シグマの研究成果には
目を見張るものがある…
彼の革新性を
最大限に活用せねば
その“研究”ってのは
勝手にやってちょうだい
私はボスに言われて
ここにいるだけ
私自身も
信じられなかったけど…
そろそろ休んだら
おじいちゃん？
徹夜で集中しても
身体に毒よ
時が意味を成さぬ
この場所において
我々は無限に存在し続ける
それなら
夜食タイムね
…シグマのことを
不憫に思う自分がいた
ラットみたいに
人を扱って…
まともに考えることすら
できない相手に
実験を重ねて
意味があるのかしら？
純粋に彼のことが
好きだったのかも
しれない
これを私に…？
何かあったのかね？
いや、その…
誕生日でしょ？
そうか…
そうだったか


今はそんな理由なんて
どうでもいい
おじいちゃん…
待ってて
FZZZZ
SHOOOM
AY!
HISSSS
手荒い歓迎ね
まずい…
遅かった!
離してくれぇぇ!
私を…
解放してくれぇぇぇ!
WOOSH
MEOW!
CRAGSKK


あのEMP爆弾が爆発したら
ヨーロッパの半分が消し飛ぶ
…もちろんシグマも
BZZZZZZ
もっと早く
ここに来るべきだった
もう時間がない…
SMASH
宇宙と一つに
ならねば…
私は行かなければ
ならないのだ！
きゃっ！
BLAM
拘束しろ！
…ったく
こんな時に限って…！
BAM


聞こえてくるぞ…
宇宙のシンフォニーが!
BZZZSTTTSSS
TEZZZZZZZZ
AHH!
大丈夫よ
おじいちゃん
私がついてるわ
…ソンブラ?
き、君がどうしてここに?
私にこの力を
止めることはできない…
ここを離れるのだ!
安心して
まずい
彼女を止めろ!
“久しぶりの
静寂だ…


“静寂と平穏…
この時をどれほど
待ち望んでいたか…”
…それを君とこうして
共有できるとは
この美しい
雪を見たまえ
おじいちゃん
ここは…？
私の過去の記憶…
もしかしたら現在…
いや、未来の記憶
かもしれない
いずれにせよ
心が落ち着く
君と会うのは
久しぶりだな

本当はもっと早く来たかったけどなかなかできなくて…ごめんなさい

君も面白い人だ

時が無限である一方後悔は一時のもの君と私が存在する…それで十分ではないかね？

…あの爆弾が炸裂する寸前なのに？

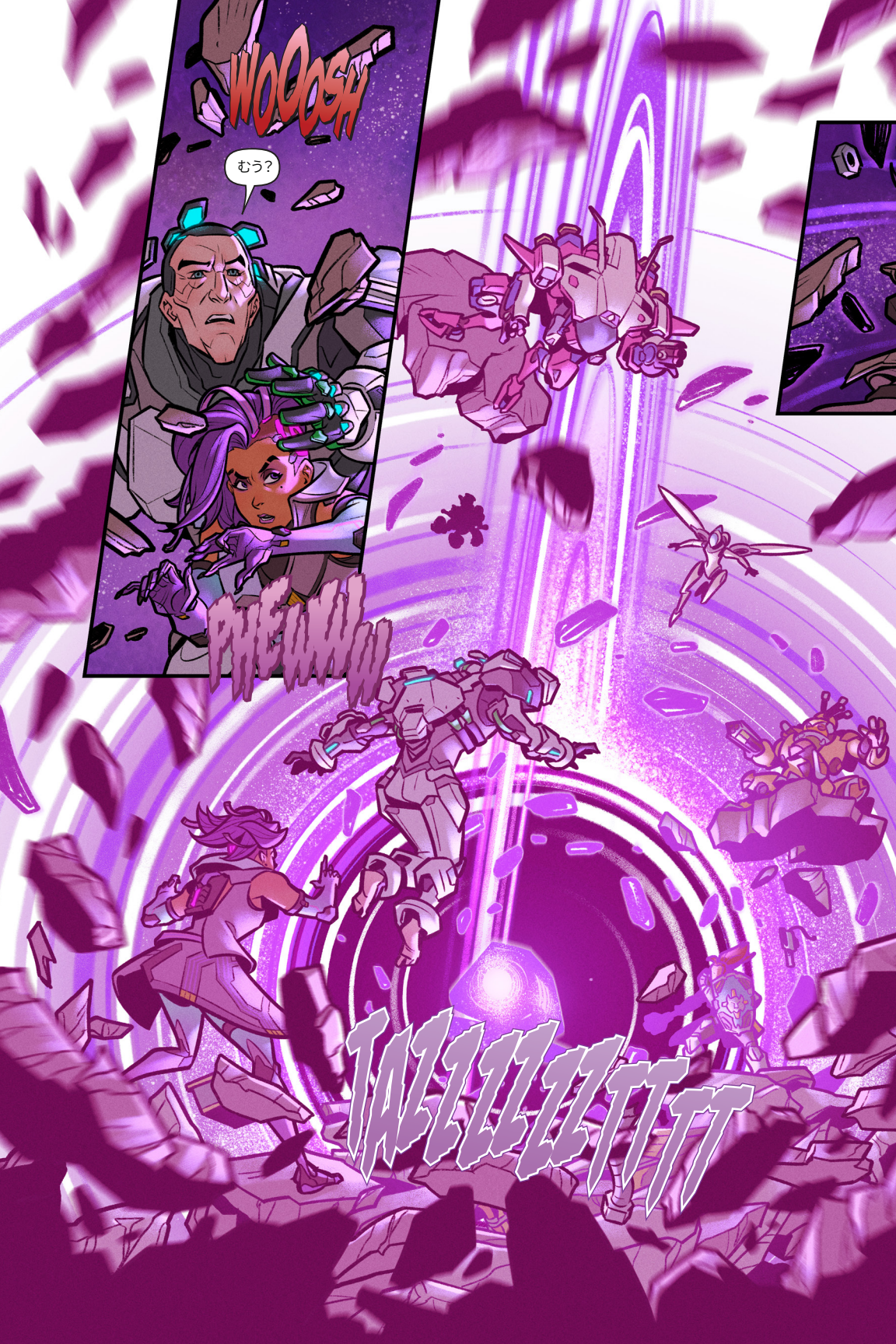
ああ…そうだったな

だが、私にはあの力を…私自身を制御できる自信がないのだ

私もよ、でも…試すだけ試してみない？失敗したってヴェンデッタの計画自体は壊せるじゃない

確かにそうだなよし…ならば最後にもう一度――

“君と混沌（カオス）に身を委ねるとしよう”


WOOOSH
むう？
PHEWWW
TAZZZZZZTTT


待ってて
私がテレポートで
中心まで——
「中心」とは
いったい——
WOOSHH
力に飲み込まれて
また自分を
見失いかけてる…！
私のハッキングも
引き裂かれた
頭の中までは直せない
HUMSTSS
シグマを助ける方法が
わからないなんて…
まだよ…あの連中と
手を組むのはシャクだけど
この方法なら脱出はできる…
CRASH
あなたたち聞こえる!?
私の合図に
あわせて動いて！
THUD
BOOM


…この空間から
シグマを解放できる
おじいちゃん
いま行くから！
KRASSHOOMM
ブレーカーをハックした…!?
みんな、私に続いて！
今なら爆弾を無力化できる！
またどこかへ？
爆弾は…？
あとはあの
“正義の味方”に
任せておけばいいわ
では
我々は…？
ここから出て
行きましょ…
“…これからは
一緒に、どこへでも”